

防府市健康増進計画(健康づくりの取組)実施状況調査票

今後の方向性
A 積極的に推進
B 現行のまま推進
C 事業を改善
D 事業を休廃止
E 令和8年度から実施予定

資料2-1

(1)栄養・食生活

市民の目標
①健康を意識した食事をとろう ②次世代につながる食育に取組もう

No.	取組内容	課名	取組内容に関連する各課の事業名	令和7年度の実績・成果	今後の方向性	
1	保健師、管理栄養士等が実施する健康相談、健康教育、保健指導の場面や、市広報、ホームページ、SNS 等の多様な媒体を活用し、健全な食生活の重要性と食に関する正しい情報の普及啓発を行います。	健康増進課	健康相談事業 健康教育事業 食生活改善推進事業	ヘルスケア相談会を3回開催し、27件中24件の相談で食に関する相談と相談者に応じた情報提供、支援につながった。 食推考案の簡単野菜レシピを市HPに掲載した。	B	健康相談・健康教育等、普及啓発の機会を多く利用する。 引き続きHPへ簡単レシピの追加・更新を行う。
		こども相談支援課	両親学級 離乳食教室 乳幼児相談 1歳6か月児・3歳児健康診査	両親学級(年4回、延べ159人参加) 離乳食教室(毎月開催、延べ151組参加) 乳幼児相談(月2回実施、延べ876組参加) 1歳6か月児健診(月2回実施、延べ717人受診) 3歳児健康診査(月2回実施、延べ793人受診)	B	継続する
		高齢福祉課	高齢者等栄養指導実施事業 一般介護予防事業 健康相談会	低栄養予防・疾患の重症化予防等を中心に、高齢期の食生活に関する健康教育・健康相談を実施した。	B	引き続き普及啓発を行う。
2	妊婦とそのパートナーや乳幼児の親子を対象に、育児相談、保健指導の場面を通じて保健師や管理栄養士が健全な食生活の重要性と食に関する正しい情報の普及啓発を行います。	こども相談支援課	両親学級 離乳食教室 乳幼児相談 1歳6か月児・3歳児健康診査	両親学級(年4回、延べ159人参加) 離乳食教室(毎月開催、延べ151組参加) 乳幼児相談(延べ876組参加、食事相談284件) 1歳6か月児健診(延べ717人、栄養相談68件) 3歳児健診(延べ793人、栄養相談26件)	B	継続する
3	関係機関や企業と連携を図り、健全な食生活と食に関する正しい知識の普及啓発を行います。	健康増進課	健康教育 健康相談 食生活改善地域組織事業	食生活改善推進員が、幼稚園、学校、企業で食に関する健康教育を実施した。 聞いて得するふるさと講座で企業に対し健康教育を実施した。	A	食推の事業所対象事業や、パフォーマンス向上！健康出前講座の機会を活用し、普及啓発を行う。
		こども相談支援課	健康教育	保育所給食職員研修(離乳食について、1日) 華城幼稚園食育教室(1日)	B	希望内容や対象者に応じて協議を行い実施する

防府市健康増進計画(健康づくりの取組)実施状況調査票

市民の目標
①健康を意識した食事をとろう ②次世代につながる食育に取組もう

今後の方向性
A 積極的に推進
B 現行のまま推進
C 事業を改善
D 事業を休廃止
E 令和8年度から実施予定

資料2-1

(1)栄養・食生活

No.	取組内容	課名	取組内容に関連する各課の事業名	令和7年度の実績・成果	今後の方向性	
4	ライフステージやライフスタイルに応じた食生活について学べる機会を提供し、具体的な実践方法について周知啓発します。	健康増進課	ヘルシーランチ&ながら運動セミナー	生活習慣病予防のための望ましい食生活について講話と試食を行った。 (4回実施、参加者延べ47名)	A	平日昼間の開催は、メインターゲットの40～60歳代が参加しにくい。ターゲット世代には出向いて実施できる方法の教室等を検討する。
		こども相談支援課	両親学級 離乳食教室 乳幼児相談 1歳6か月児・3歳児健康診査	両親学級(年4回、延べ159人参加) 離乳食教室(毎月開催、延べ151組参加) 乳幼児相談(月2回実施、延べ701組参加) 1歳6か月児健診(月2回実施、延べ717人受診) 3歳児健康診査(月2回実施、延べ793人受診)	B	継続する
		子育て推進課	市立保育所・認定こども園管理運営事業	年齢に応じた食事の提供や野菜の栽培・クッキング保育を行い、実践を通して3色食品群について学び、健康的な体作りへの関心が持てるよう働きかけた。	B	食育の取り組みの様子を保護者に情報提供し、家庭とともに食への関心を深めていけるように働きかけていく。
		学校教育課	食育の日(19日)の地場産給食の実施 給食便り	毎月19日の「食育の日」前後に地場産食材を利用した給食を提供する。 各学校で給食便りを配布している。	B	引き続き実施する。
		高齢福祉課	ふれあいいきいきサロン講師派遣 健康教育	フレイル予防・低栄養予防等に関する講話を行い、多様な食品群の選び方を合言葉を用いて周知した。	B	継続して周知啓発を行う

防府市健康増進計画(健康づくりの取組)実施状況調査票

今後の方向性
A 積極的に推進
B 現行のまま推進
C 事業を改善
D 事業を休廃止
E 令和8年度から実施予定

資料2-1

(1)栄養・食生活

市民の目標
①健康を意識した食事をとろう ②次世代につながる食育に取組もう

No.	取組内容	課名	取組内容に関連する各課の事業名	令和7年度の実績・成果	今後の方向性	
5	共食の大切さや伝統的な食文化、地産地消についての普及・啓発を行います。	健康増進課	食生活改善事業 (山口短期大学での郷土料理教室) 地域での郷土料理教室 小・中学校での郷土料理教室	食生活改善推進員活動の一環で実施。合計141名の参加者となった。	B	若い世代にも郷土料理に親しんでもらえるよう学校や地域と連携して食文化の継承に努めていく。
		子育て推進課	市立保育所・認定こども園管理運営事業	お月見会や新春お茶会などの行事や日々の給食を通して、伝統料理の由来や旬の食材について知らせたり、栽培した野菜を調理して味わうなどした。	B	子どもたちの関心に合わせて野菜の栽培やクッキング保育の実施を継続していく。
		農林水産振興課	地産地消推進対策事業	農業まつりで地産地消ミルク鍋を販売 親子郷土料理教室:1回 親子料理教室:1回 市広報に地産地消料理レシピ掲載(6回) 「防府市の農産物マップ&旬の農産物カレンダー」クリアファイルを小学1年生に配付 市民対象の玉ねぎの収穫・植え付け体験会を実施:収穫13組・植え付け16組 市内スーパーで防府市産小松菜・春菊のPR(試食・チラシ配布)を実施 生産者対象の学校給食センター施設見学・給食試食会を実施 小学生と保護者を対象としたほうふ八百屋さんクイズラリーを実施:参加者20名 軽トラ市への出店:生活改善実行グループ連絡協議会による有機じゃがバター販売	B	今後も例年と同様の内容を継続して実施する。
		学校教育課	地場産週間における地場産利用拡大 鯨肉消費使用拡大事業(県事業)の実施	令和7年度防府市学校給食における地場産率75.7% 学校給食における年1回以上の鯨肉使用。	B	生産者や市場関係者と情報を共有し、県産食材や県産加工品を積極的に献立に取り入れる等、利用率の維持・向上に努める。

防府市健康増進計画(健康づくりの取組)実施状況調査票

市民の目標
①健康を意識した食事をとろう ②次世代につながる食育に取組もう

今後の方向性
A 積極的に推進
B 現行のまま推進
C 事業を改善
D 事業を休廃止
E 令和8年度から実施予定

資料2-1

(1)栄養・食生活

No.	取組内容	課名	取組内容に関連する各課の事業名	令和7年度の実績・成果	今後の方向性	
6	健康づくり推進のつどいなど各種イベントで食育の大切さについて継続して普及啓発を行います。	健康増進課	幸せます健康まつり	栄養・食生活分野で、4団体からブースの出展があり、合わせて621人がブースを体験された。	B	野菜・食育・栄養相談などそれぞれの団体の専門性を活かし、横のつながりを持ちながら実施できるとよい。
		保険年金課	幸せます健康まつり	「幸せます健康まつり」において、特定健診の啓発ブースを出展し、225人が来場された。	B	特定健診を通じた食育の普及啓発について、多様なイベントでの広報に努める。
7	「食育月間(6月)」及び「食育の日(毎月19日)」に、市民の食育に対する理解を深める取り組みを行います。	健康増進課	「食育月間」及び「食育の日」の周知	6/19に「FMわっしょい」にて周知。	B	食育月間以外の月の食育の日でも、健康教室など機会を見つけて周知を行う。
8	栄養・食生活に関わる人材(食生活改善推進員・生活改善実行グループ連絡協議会等)の育成・活動支援をします。	健康増進課	食生活改善事業 食生活改善推進員養成講座	食推対象に年4回の研修を開催し、延べ246人が参加。食推が実施する地域活動の協力した。応募者18名に対し、養成講座を開催した。	B	食推の地域活動に役立ち、参加したくなる内容の研修会を検討し実施する。
		農林水産振興課	地産地消推進対策事業	生活改善実行グループ連絡協議会会員研修会を実施:3回 視察研修を実施:萩しーまーと等	B	今後も例年と同様の内容を継続して実施する。
9	特定健康診査や受診後の保健指導の際に健全な食生活と食に関する正しい知識について説明します。	保険年金課	特定健康診査・特定保健指導事業	特定健康診査の実施:4,767人 特定保健指導の実施:108人	B	実施率の向上に向け、未実施者への効果的なアプローチを行う。

防府市健康増進計画(健康づくりの取組)実施状況調査票

今後の方向性
A 積極的に推進
B 現行のまま推進
C 事業を改善
D 事業を休廃止
E 令和8年度から実施予定

資料2-1

(2) 歯と口の健康

市民の目標
①よくかんで食べ、お口の健康を守ろう

No.	取組内容	課名	取組内容に関連する各課の事業名	令和7年度の実績・成果	今後の方向性	
1	保健師、管理栄養士が実施する健康相談、健康教育、保健指導の場面や、市広報、ホームページ、SNS等の多様な媒体を活用し、歯と口の健康の大切さ、口腔ケアや歯科検診の必要性について正しい知識の普及啓発を行います。	健康増進課	ホームページ、市広報	市広報6月号、11月号に県歯科医師会の無料歯科健康診断・相談の記事を掲載。	A	令和8年度からは、『パフォーマンス向上！健康出前講座』で職域に対して歯や口腔のことについて普及啓発する
		こども相談支援課	妊産婦歯科健康診査 妊婦等包括相談支援事業(伴走型相談支援) 乳幼児相談 1歳6か月児・3歳児健康診査	・妊産婦歯科健康診査 243人 ・乳幼児相談の歯科衛生士等による歯磨き・口腔ケアの指導(乳児63件、幼児55件) ・1歳6か月児健康診査 716人 ・3歳児健康診査 790人	B	継続する
		高齢福祉課	高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施	住民主体の通いの場を中心に、オーラルフレイル予防に関する講話を実施した。	B	健康相談・健康教育の機会を通じて普及啓発を継続する。
2	歯と口の健康週間(6月4日から10日、11月8から14日)に、市民に広く歯と口の健康の大切さや口腔ケア、歯科検診等について普及啓発を行います。	健康増進課	市広報	市広報6月号、11月号に県歯科医師会の無料歯科健康診断・相談の記事を掲載。	B	歯と口の健康週間に歯と口の健康の大切さや口腔ケア、歯科健診等について普及啓発を行う
3	医師会、歯科医師会、薬剤師会等関係機関や企業と連携を図り、歯と口の健康に関する正しい知識の普及啓発を行います。	健康増進課	幸せます健康まつり	幸せます健康まつりで、歯科医師会にブースを出展して歯磨き指導・歯科相談を対応して頂いた。	A	令和8年度からは、『パフォーマンス向上！健康出前講座』で職域に対して歯や口腔のことについて普及啓発する
		こども相談支援課	妊産婦歯科健康診査 1歳6か月児・3歳児健康診査	歯科医師会と連携を図りながら、妊産婦歯科健康診査の実施や1歳6か月児・3歳児への歯科健康診査を実施した。	B	継続する
		高齢福祉課	オーラルフレイル研修会	歯科医師が講師となり、高齢者を支援する専門職を中心に、オーラルフレイルや歯周病予防に関する講座を開催した。	C	歯科医師会と連携し、普及啓発方法を検討する。
		保険年金課	保健衛生普及事業(歯周病予防事業)	防府歯科医師会と連携して歯周病予防教室を開催し、参加者の歯周病やお口の健康への理解を深めた。	B	定員に対して、参加者が少なかったため、開催方法等を再考し、より効果的な実施に努める。

防府市健康増進計画(健康づくりの取組)実施状況調査票

今後の方向性
A 積極的に推進
B 現行のまま推進
C 事業を改善
D 事業を休廃止
E 令和8年度から実施予定

資料2-1

(2) 歯と口の健康

市民の目標
①よくかんで食べ、お口の健康を守ろう

No.	取組内容	課名	取組内容に関連する各課の事業名	令和7年度の実績・成果	今後の方向性	
4	歯磨き指導や口腔ケアの指導を行い、むし歯(う歯)や歯周病予防・対策を推進します。	こども相談支援課	乳幼児相談 1歳6か月児・3歳児健康診査	・乳幼児相談において、歯科衛生士等による歯磨き・口腔ケアの指導を行った(乳児63件、幼児55件) ・1歳6か月児健康診査(集団健診)において、歯科衛生士による歯磨き指導を実施(716件) ・3歳児健康診査(集団健診)の待合で歯磨き指導DVDを視聴(790人)	B	継続する
		高齢福祉課	ふれあいいきいきサロンへの講師派遣	ふれあいいきいきサロンに歯科衛生士を派遣し、歯磨き指導等を実施した。	B	引き続き実施する。
		学校教育課	小中学校での取組み	小・中学校では「歯の衛生週間」に合わせて、各学校で歯と口の健康に関する啓発活動を行った。特に、小学校は歯と口に対する健康意識を高めることを目的に「全国小学生歯磨き大会」に参加した。	B	引き続き、むし歯(う歯)や歯周病予防・対策を推進する。
5	妊産婦に、歯と口の健康の大切さや口腔ケアについて指導を行い、歯科検診の受診機会を提供します	こども相談支援課	妊婦等包括相談支援事業(伴走型相談支援) 妊産婦歯科健康診査	妊娠届出時や産後面談等で歯の健康の大切さについて指導を行った。 妊娠中から産後1年までの間に歯科健康診査1回受ける費用を助成。	B	継続する
6	歯科検診の機会を提供します。	保険年金課	【後期】歯科健康診査(お口の健康診断)	毎月1回、健診受診案内のメールを対象者へ送付し、受診勧奨を行った。	A	受診率の増加を図るため、引き続き積極的な受診勧奨及び周知、勧奨方法について検討する。
		こども相談支援課	妊産婦歯科健康診査 1歳6か月児・3歳児健康診査	歯科検診受診者数 ・妊産婦歯科健康診査 243人 ・1歳6か月児 716人 ・3歳児 790人	B	継続する
7	防府歯科医師会と連携し、歯科検診や歯科保健指導の機会を提供します。	健康増進課	実施についての検討			

防府市健康増進計画(健康づくりの取組)実施状況調査票

資料2-1

(3) 身体活動・運動

市民の目標
① 今よりも少しでも多く身体を動かそう

今後の方向性
A 積極的に推進
B 現行のまま推進
C 事業を改善
D 事業を休廃止
E 令和8年度から実施予定

No.	取組内容	課名	取組内容に関連する各課の事業名	令和7年度の実績・成果	今後の方向性	
1	保健師、管理栄養士が実施する健康相談、健康教育、保健指導、運動に関する専門職が行う教室やイベントの場面や、市広報、ホームページ、SNS等の多様な媒体を活用し、身体活動・運動の必要性や適切な運動量に関する正しい知識の普及啓発を行います。	健康増進課	健康相談事業 健康教育事業	ヘルシーランチ＆ながら運動セミナー：4回（計47人） 生活習慣病予防のため、生活に取り入れやすいながら運動とラジオ体操について講話と実践を交えて行った。	B	アクティブガイドを参考に必要な身体活動量を伝えつつ、生活に取り入れやすい運動を講話と実践を通して伝える。より若い世代への普及啓発を図るため、市内企業にもメールでお知らせする。
2	やまぐち健康経営登録・認定企業等や商工会議所と連携し、職域に対し、身体活動・運動の意義や必要性について正しい知識の普及啓発ややまぐち健幸アプリの活用を勧めます。	健康増進課	職域に対する健康教育	食生活改善推進員が行う教室や、聞いて得するふるさと講座で申し込みがあった企業で健康教育を行った。	A	令和8年度からは、『パフォーマンス向上！健康出前講座』のチラシを企業に送付し、積極的に周知をしていく。
3	階段ステッカー等を活用し、企業や各団体が体を動かしやすい環境づくりができるよう支援を行います。	健康増進課	階段ステッカー	7年度配布企業・団体：2件（4セット） より市民に関心を持ってもらうため、新しい階段ステッカーを作成した。	B	企業等に出向いた際に、積極的に階段ステッカーについての周知を行う。
4	ほうふスポーツフェスタなど各種イベントでスポーツの意義や楽しさの普及啓発、楽しく体を動かす機会を提供します。	スポーツ振興課	ほうふスポーツフェスタ2025	10月19日（日）にほうふスポーツフェスタ2025を開催 当日自由に参加できるスポーツブースの他、事前申し込みのスポーツ教室を設けるとともに、飲食ブースや車両展示等も行い参加者が一日楽しめるイベントを行った。 参加者数：約2,200名	B	今後も継続して実施する
5	子育て中の親子が集まる場等で、親子で体を動かすことの大切さについて普及啓発をします。	こども相談支援課	母子保健推進協議会が行う子育てサークル部会、わいわいHOFUっ子のつどい等	子育てサークルやわいわいHOFUっ子のつどい等で、ミニ運動会やリミック、シーツ遊び等を取り入れ、親子で体を動かすことの大切さを伝えた。	B	継続する
6	介護予防を目的にフレイルやロコモに関する啓発や、予防に関する取組や支援を行います	高齢福祉課	介護予防・日常生活支援総合事業住民主体の介護予防教室 高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施	総合事業を推進し介護予防に取組むほか、住民主体の通いの場の活動継続を支援した。フレイル質問票を活用し、健康教育を実施した。	B	活動量を増やし介護予防に取組めるよう、引き続き通いの場の支援や健康教育等を実施する。
7	「高齢者健康の道」を誰もが気軽に歩けるよう整備します。	健康増進課	高齢者健康の道	整備の方向性の検討を行った。	A	高齢者健康の道のネーミングを変更し、世代を問わず気軽に歩けるように整備する。

防府市健康増進計画(健康づくりの取組)実施状況調査票

今後の方向性
A 積極的に推進
B 現行のまま推進
C 事業を改善
D 事業を休廃止
E 令和8年度から実施予定

資料2-1

(4) 喫煙

市民の目標
①喫煙が身体に及ぼす影響や受動喫煙について知り、対策をとる

No.	取組内容	課名	取組内容に関連する各課の事業名	令和7年度の実績・成果	今後の方向性	
1	保健師、管理栄養士が実施する健康相談、健康教育、保健指導の場面や、市広報、ホームページ、SNS等の多様な媒体を活用し、喫煙や受動喫煙、COPDに関する正しい知識の普及啓発を行います。	健康増進課	健康相談事業 健康教育事業 ホームページ等	・禁煙相談に随時対応。 ・がん検診時にたばこの害やCOPDについての保健指導を行った。 ・ホームページで、たばこの害やCOPDについて正しい知識の普及啓発を行った。	B	今後も様々な機会をとらえ、タバコの害に関する正しい知識の普及や禁煙の促進に努める。
2	医師会、歯科医師会、薬剤師会等関係機関や企業、健やかほうふ21計画推進委員会と連携を図り、喫煙や受動喫煙、COPD についての正しい知識の普及啓発を行います。	健康増進課	健やかほうふ21計画推進委員会	健やかほうふ21計画推進委員会において、市民の喫煙に関する現状の共有や、取組の推進について協議を行った。	B	関係機関と連携を図り、喫煙や受動喫煙、COPD についての正しい知識の普及啓発に努める。
3	「世界禁煙デー(5月31日)」及び「禁煙週間(5月31日から6月6日)」、「世界COPDデー(11月の第3水曜日)」にあわせて、たばこの健康影響、COPDに関する正しい知識の普及啓発を強化します。	健康増進課	「世界禁煙デー」及び「禁煙週間」、「世界COPDデー」の普及啓発	・市広報5月号に「世界禁煙デー・禁煙週間」の記事を掲載。 ・「世界禁煙デー」のポスターを公民館へ掲示	B	今年度はこれまでの取組を継続しつつ、「世界COPDデー」に合わせて市広報11月号に記事を掲載する。
4	特定健康診査や受診後の保健指導などの際に禁煙支援やCOPDのチェックリストを活用し、必要な人には受診勧奨を行います。	保険年金課	特定健康診査・特定保健指導事業 (防府市国民健康保険特定健康診査質問票)	特定健康診査の実施:4,767人 特定保健指導の実施:108人	B	実施率の向上に向け、未実施者への効果的なアプローチを行う。
		健康増進課	特定保健指導	・禁煙相談に随時対応。 ・特定保健指導で禁煙を目標に掲げた方にCOPDチェックリストを配布したり、必要に応じて禁煙外来を紹介するなど支援を行った。	B	継続して実施する。
5	小中学生に対し、たばこの害について正しく伝え、未成年者の喫煙を防ぐ教育を行います。	学校教育課	小中学校での取組み	小・中学校の保健体育科において、たばこの健康への害について正しい知識を伝え、将来の健康を守るための意識を育てる授業を行った。	B	引き続き、たばこの害について正しく伝え、未成年者の喫煙を防ぐ教育を行います。
6	妊娠届出時や乳幼児健診の機会に、喫煙者に対し、たばこの害や禁煙方法、禁煙外来を周知することを継続して行います。	こども相談支援課	妊婦等包括相談支援事業(伴走型相談支援)、来所、家庭訪問等での面談 1歳6か月児・3歳児健康診査	妊娠届出者数684人のうち、喫煙習慣がある妊婦や家族に対し、指導を行った。その他、喫煙者と面談した際には指導を行った。	B	継続する
7	受動喫煙をしないための環境づくりに取り組みます。特にこどもや妊婦などリスクが高い人が受動喫煙をしないように取り組みます。	健康増進課	受動喫煙の危険性について普及啓発を行う。	・市広報5月号に「世界禁煙デー・禁煙週間」の記事で受動喫煙の危険性について掲載。	B	市広報などを通じて市民に広く受動喫煙の危険性を普及啓発していきます。

防府市健康増進計画(健康づくりの取組)実施状況調査票

資料2－1

- 今後の方向性
A 積極的に推進
B 現行のまま推進
C 事業を改善
D 事業を廃止
E 令和8年度から実施予定

(5) 飲酒

市民の目標
①アルコールについて正しい知識をもち、不適切な飲酒を減らそう

No.	取組内容	課名	取組内容に関連する各課の事業名	令和7年度の実績・成果	今後の方向性	
1	保健師、管理栄養士が実施する健康相談、健康教育、保健指導の場面や、市広報、インターネット、SNS等の多様な媒体を活用し、飲酒が健康に及ぼす影響等について正しい知識の普及啓発を行います。	健康増進課	健康相談事業 健康教育事業	依頼があった企業1社で飲酒についての健康教育を実施した	A	令和8年度から実施する『パフォーマンス向上！健康出前講座』で、飲酒の内容についても普及啓発を行っていく。
2	医師会、歯科医師会、薬剤師会等関係機関や企業と連携を図り、飲酒についての正しい知識の普及啓発を行います。	健康増進課	健やかほうふ21計画推進委員会	健やかほうふ21計画推進委員会において、市民の飲酒に関する現状の共有や、取組の推進について協議を行った。	A	令和8年度から実施する『パフォーマンス向上！健康出前講座』で、飲酒の内容についても普及啓発を行っていく。
3	アルコール関連問題啓発週間（11月10日から16日）に、市民に広くアルコールに関連する問題に関する関心と理解を深めるため、普及啓発を行います。	健康増進課			E	令和8年度からは、11月号の市広報でアルコール関連問題啓発週間について、飲酒が健康に及ぼす影響等について普及啓発予定。
4	特定健康診査や受診後の保健指導の際にアルコールが健康に及ぼす影響について説明します。	保険年金課	特定健康診査・特定保健指導事業（防府市国民健康保険特定健康診査質問票）	特定健康診査の実施:4,767人 特定保健指導の実施:108人	B	実施率の向上に向け、未実施者への効果的なアプローチを行う。
		健康増進課	特定保健指導	動機付け支援利用者： 73人 積極的支援利用者： 9 人	B	特定保健指導の際に、飲酒をしている方には自分に合った飲酒量を決めるように促していく。
5	アルコールの健康への影響について正しく伝え、未成年者の飲酒を防ぐ教育を行います。	学校教育課	小中学校での取組み	小・中学校の保健体育科において、飲酒に関する正しい知識を伝え、未成年者の飲酒が心身に及ぼす影響について理解を深める授業を行った。	B	引き続き、アルコールの健康への影響についての教育を行います。
6	妊娠届出時に、飲酒している妊婦に対して、飲酒が胎児に与える影響についての普及啓発や、妊産婦への指導を行います。	こども相談支援課	妊婦等包括相談支援事業（伴走型相談支援） 来所、家庭訪問等での面談	妊娠届出時に、飲酒している妊婦に対して、飲酒が胎児に与える影響についての指導を行った。 R7 妊娠届出時飲酒者数3人	B	継続する

防府市健康増進計画(健康づくりの取組)実施状況調査票

資料2-1

今後の方向性
A 積極的に推進
B 現行のまま推進
C 事業を改善
D 事業を休廃止
E 令和8年度から実施予定

市民の目標
①適切に睡眠・休養をとり、こころの健康を守ろう

(6)休養・睡眠・こころの健康

No.	取組内容	課名	取組内容に関連する各課の事業名	令和7年度の実績・成果	今後の方向性	
1	保健師、管理栄養士等が実施する健康相談、健康教育、保健指導の場面や、市広報、インターネット、SNS等の多様な媒体を活用し、十分な睡眠が健康に重要であることや休養の重要性について正しい情報の普及啓発を行います。	健康増進課	健康相談事業 ホームページ等	市広報やホームページで、睡眠や休養の重要性について普及啓発を行った。	A	令和8年度からは、『パフォーマンス向上！健康出前講座』で職域に対して睡眠や休養の重要性について普及啓発する
2	こころの健康と睡眠の関連について、こころの健康づくりとあわせて普及啓発を行います。	健康増進課	こころの健康に関する講演会	3月6日(金)「ぐっすり眠ってすっきり目覚める～健康のための睡眠習慣～」 講師:公認心理師、参加者85人 オンデマンド申込者数119人	B	令和8年度もこころの講演会で、睡眠との関連についての普及啓発を行う。
3	睡眠に関する不安がある時の対応について、相談先や適切な対応方法について普及啓発を行います。	健康増進課	健康相談事業 特定保健指導 ホームページ	特定保健指導で睡眠について目標を掲げた方には睡眠の正しい取り方について説明した。 ホームページに悩みごと相談窓口一覧を掲載した。	B	継続する。
4	こども達へ睡眠の大切さを伝え、日中の運動や朝食の摂取など、良い睡眠のためにできることを啓発します。 保健指導で睡眠の大切さについて伝えます。	学校教育課	小中学校での取組み	小・中学校において、保健体育科では睡眠と心身の健康との関係について学習し、家庭科では食生活の重要性について学ぶ授業を実施した。	B	引き続き、睡眠の大切さについて伝えていきます。
5	妊産婦や乳幼児の親子に睡眠の重要性を伝え、家族そろって、早寝早起き朝ごはんの推進を行います。	こども相談支援課	1歳6か月児・3歳児健康診査 両親学級、プレママ★まんまるサロン 母子保健推進協議会が行う子育てサークル部会、わいわいHOFUっ子のつどい等	各種事業において、生活リズムについて確認し、早寝早起き朝ごはんの大切さについて伝えた。	B	継続する
6	通いの場などで高齢者の休養・睡眠に関する正しい知識の普及啓発を行います。	高齢福祉課	健康相談会	健康相談会で高齢者の休養・睡眠に関する健康教育を実施した。	B	通いの場でも休養・睡眠に関する健康教育を実施し、高齢者とその家族に正しい知識の普及啓発を行う。
7	ワークライフバランスを実現できる働きやすい職場づくりを促進します。	商工振興課	多様な働き方推進事業費補助金 (働き方改革促進事業)	多様な働き方の導入により、誰もがワークライフバランスを実現できるよう、先補助金の周知により、働き方改革の重要性の周知を行ったが、補助金の利用にはつながらなかった。	B	引き続き実施する。

防府市健康増進計画(健康づくりの取組)実施状況調査票

資料2-1

- 今後の方向性
- A 積極的に推進
 - B 現行のまま推進
 - C 事業を改善
 - D 事業を休廃止
 - E 令和8年度から実施予定

(7)ケンシン

市民の目標
①定期的にケンシンを受け、生活習慣を振り返ろう
②生活習慣病の発症予防・重症化予防につとめよう

No.	取組内容	課名	取組内容に関連する各課の事業名	令和7年度の実績・成果	今後の方向性	
1	保健師、管理栄養士等が実施する健康相談、健康教育、保健指導の場面や、市広報、インターネット、SNS等の多様な媒体を活用し、ケンシン受診に関する正しい知識の普及啓発を行います。	健康増進課	がん検診事業 健康相談 ヘルシーランチ&ながら運動セミナー	がん検診・特定健診を定期的に受診する大切さや、内容、受診方法等について普及啓発を行った。	B	引き継ぎ普及啓発を行う。
		保険年金課	特定健康診査・特定保健指導事業 後期高齢者医療健康診査事業	【国保】市広報等、多様な媒体での周知を実施。外部委託により、特定健診の特設サイトをネット公開。 【後期】相談を希望する者に対して医療専門職が相談に応じる健康相談会をルルサス文化センターで月に1回開催した。	A	【国保】実施率の向上に向け、未実施者への効果的なアプローチを行う。 【後期】引き続き気軽に健康相談ができる場を確保し、幅広い年代の方の健診受診につながるよう周知、実施方法を検討していく。
2	「がん征圧月間(9月)」及び「ピンクリボン月間(10月)」にあわせてがん検診の普及啓発を強化します。	健康増進課	がん検診事業	市広報・市公式SNSに掲載 関係機関に啓発用媒体の設置・配布 ピンクライトアップと横断幕・のぼり旗設置(市役所、防府総合用円筒分水工)	B	引き続き実施する。
3	ケンシン受診に関する情報を提供し、受診の促進に努めます。	健康増進課	がん検診事業 健康相談 ヘルシーランチ&ながら運動セミナー	がん検診・特定健診を定期的に受診する大切さや、内容、受診方法等について普及啓発を行った。	A	引き続き実施する。 加えて、ケンシン・プラスワン運動を展開し、推進委員会開催。職域や若者世代への取組を予定している。
		保険年金課	特定健康診査・特定保健指導事業 後期高齢者医療健康診査事業	【国保】未受診者に対し、人工知能を活用したタイプ別の受診勧奨通知を送送。 【後期】毎月1回、健診受診案内のメールを対象者へ送付し、受診勧奨を行った。	A	【国保】実施率の向上に向け、未実施者への効果的なアプローチを行う。 【後期】受診率の増加を図るため、引き続き積極的な受診勧奨及び周知、勧奨方法について検討する。

防府市健康増進計画(健康づくりの取組)実施状況調査票

資料2-1

- 今後の方向性
- A 積極的に推進
 - B 現行のまま推進
 - C 事業を改善
 - D 事業を休廃止
 - E 令和8年度から実施予定

(7)ケンシン

市民の目標
①定期的にケンシンを受け、生活習慣を振り返ろう
②生活習慣病の発症予防・重症化予防につとめよう

No.	取組内容	課名	取組内容に関連する各課の事業名	令和7年度の実績・成果	今後の方向性	
4	がん検診の結果、要精密検査の判定だった人に対し、受診勧奨します。	健康増進課	がん検診事業	要精密検査の判定の人に結果通知と共に精密検査医療機関一覧を送付する。検診日より3か月以上経過するも、受診されていない方に対し、電話勧奨を行う。	B	引き続き実施する。
5	特定健診の結果、要指導、要受診の判定だった人に対し、特定保健指導や受診勧奨を行います。	保険年金課	特定健康診査・特定保健指導事業 ※後期は広域連合で受診勧奨	特定保健指導の実施108人。 未実施者に対しては、文書通知に加え、保健師による電話勧奨を行った。	A	実施率の向上に向け、未実施者への効果的なアプローチを行う。
		健康増進課	個別健康相談	適宜相談があった場合に対応	B	引き続き実施する。
6	生活習慣を改善したい人のための教室、健康相談会等を開催します。	健康増進課	ヘルシーランチ&ながら運動セミナー(教室) 幸せますヘルスケア相談会	【教室】 がん検診・特定健診の大切さや結果の見方、生活習慣病予防のための食事・運動について講話を行った。運動についてはリハビリ専門職を派遣した。(4回開催 47人) 【健康相談会】 令和7年度初めて実施。生活習慣予防等の指導・助言を行った。(3回開催25人)	C	【教室】 ターゲットを働く世代としているが、様々な工夫をしても参加者数が少なかった。そのため、現行の教室を1回とし、職域に出向く講座を増やすことを予定している。 【健康相談会】 継続して実施する予定だが、方法については再検討する。
7	職域と連携し、ケンシン受診の働きかけを行います。	健康増進課	地域職域連携事業	商工会議所だよりにケンシンを含む健康づくり情報のチラシを挟み込み 地域産業保健センターから事業所にチラシ配布 メールアドレスを把握している健康経営企業や関係機関にメール配信企業へ出前講座(1社)	A	引き続き実施する。 加えて、令和8年度から職域に出向く講座をメニュー化し、訪問企業を増やすことを予定している。

防府市健康増進計画(健康づくりの取組) 実施状況調査票

資料2-1

(8) 自然に健康になれる環境づくり・社会のつながり

市民の目標
①声をかけあい、お互いが健康になれる環境をつくろう

今後の方向性
A 積極的に推進
B 現行のまま推進
C 事業を改善
D 事業を休廃止
E 令和8年度から実施予定

No.	取組内容	課名	取組内容に関連する各課の事業名	令和7年度の実績・成果	今後の方向性	
1	やまぐち健康応援団への登録を促進します。	健康増進課	地域職域連携事業	やまぐち健康応援団を含めた職場の健康づくりに関するチラシを作成。 企業の担当者と話す際に説明した。	B	引き続き実施する。
2	やまぐち健幸アプリの活用について周知を図ります。	健康増進課	ヘルシーランチ＆ながら運動セミナー（教室） がん検診事業	セミナーでリハビリテーション専門職から健幸アプリの活用方法について説明。また、がん検診の際にリーフレットを設置し周知した。	B	引き続き実施する。
3	県や保険者と共に健康経営企業が増加するように取組を行います。	健康増進課	地域職域連携事業	山口健康福祉センター管内地域・職域連携推進協議会で、企業が制度を利用するにあたっての課題を出し、解決方法を検討した。	B	引き続き実施する。
4	市民が健康づくりを意識できるまち（市民が歩いたり体を動かしたくなるまち）に向けた環境づくりを行います。	健康増進課	高齢者健康の道	整備の方向性の検討を行った。	A	高齢者健康の道のネーミングを変更し、世代を問わず気軽に歩けるように整備する。
		スポーツ振興課	スポーツ施設の充実及び活用 スポーツに「誰もがアクセスできる」環境の充実	市民のニーズに合わせた情報の発信や、誰でも気軽にスポーツに取り組める機会・環境の充実を図りました。	B	今後も継続して実施する
5	ワークライフバランスを実現できる働きやすい職場づくりを促進します。【再掲】	商工振興課	多様な働き方推進事業費補助金（働き方改革促進事業）	多様な働き方の導入により、誰もがワークライフバランスを実現できるよう、先補助金の周知により、働き方改革の重要性の周知を行ったが、補助金の利用にはつながらなかった。	B	引き続き実施する。
6	地域の交流の場ともなる、こども食堂やこどもの居場所を提供する団体等の活動を支援します。	こども相談支援課	子育て支援活動補助金 こども食堂ネットワーク支援事業補助金 こどもの居場所づくり事業補助金	こども食堂や学習の支援などの子供の居場所を提供する団体に対し、その活動経費の支援を行った。	B	継続する
7	地域住民の自主的な活動として各地域で実施しているふれあい・いきいきサロンが活性化するよう支援します。	高齢福祉課	地域住民グループ支援事業（防府市社会福祉協議会委託）	サロン等に講師を紹介・派遣し、地域住民自主グループの活動支援と連絡調整等を行った。（サロン相談対応件数：423件・いきいきサロン登録件数：137件）	B	一層の介護予防が図られるよう引き続き実施する。
8	地域のボランティア団体の活動や運営を支援します。	地域振興課	市民活動支援センターによるボランティアマッチング	市民活動支援センター（指定管理業務）にてボランティアマッチングを行った。 ボランティアマッチング数（のべ）： 個人：412人 団体：4団体	B	引き続き実施する。
		福祉総務課	地域福祉推進業務	市では、ボランティアセンター事業を行う市社会福祉協議会に、事務費等の補助を行いました。	B	今後も継続して実施する。

防府市健康増進計画(健康づくりの取組)実施状況調査票

資料2-1

(8) 自然に健康になれる環境づくり・社会のつながり

市民の目標
①声をかけあい、お互いが健康になれる環境をつくろう

今後の方向性
A 積極的に推進
B 現行のまま推進
C 事業を改善
D 事業を休廃止
E 令和8年度から実施予定

No.	取組内容	課名	取組内容に関連する各課の事業名	令和7年度の実績・成果	今後の方向性	
9	ボランティア養成講座や研修会の開催により、ボランティアの育成機会の充実を図ります。	生涯学習課	生涯学習ボランティア養成講座	年2回開催 1回目 12月21日(日)に開催 参加者:11人 2回目 3月2日(月)に開催 参加者:4人	B	引き続き実施する。
10	地域コミュニティ活動の拠点となる自治会の地域活動を支援します。	地域振興課	防府市がんばる地域応援事業	自治会等が行う地域清掃や文化祭の開催等に係る経費の支援を行った。 【連合会】 申請:15地域 補助額:4,310,105円 【自治会】 前期申請:95件 4,400,721円 後期申請:71件 3,415,888円	B	引き続き実施する。
			振興助成金	自治会活動振興のための助成金を交付した。 補助額: 前期:9,970,350円 後期:9,964,425円	B	引き続き実施する。
			地区公共用施設補助金	自治会館の改修等に対し、補助金を交付した。 申請:14件 補助額:6,838,000円	B	引き続き実施する。
			地域貢献活動保険	地域貢献活動中に事故が発生した場合に補償した。 申請:9件(内、2件手続き中) 補償額:1,460,646円	B	引き続き実施する。